

2024年12月11日作成 Ver.7

## 《情報公開文書》

## 血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する診断スコアリングシステムの構築

## 研究の概要

## 【背景】

血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫は、小血管内で腫瘍細胞が増殖する稀な節外性 B 細胞リンパ腫です。診断には小血管や毛細血管内に腫瘍細胞を確認することが必須であり、皮膚、骨髄、肝臓、脾臓、肺などから生検を行います。その中でも侵襲の比較的少ないランダム皮膚生検がほぼ全例で行われています。

## 【目的】

血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫が疑われ、ランダム皮膚生検を行った患者さんに対して、今回作成した血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫のスコアリングシステムをあてはめ、検証を行います。その検証の中で、スコアリングに特化した項目を探索し、さらに指標となるカットオフ値を検討します。

## 【意義】

スコアリングシステム構築によりスコアの低い、血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の可能性が低い患者さんに対してランダム皮膚生検を減らすことができます。さらに、スコアの高い症例は、早期に血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫を疑うことができ、早期診断・早期治療につながる可能性があります。

## 【方法】

まず、皮膚科病理台帳から血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫を疑いランダム皮膚生検を行った患者さんを抽出します。対象となる患者さんの電子カルテから、あらかじめ設定した情報を収集します。得られた情報から統計学的手法を用いて、スコアリングに特化した項目を探索します。さらに特化した項目において、指標となるカットオフ値を算出します。

## 対象となる患者さん

2005年1月1日～2024年3月31日の間に、血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫が疑われランダム皮膚生検を施行した患者さんを対象とします。年齢は問いません。

## 研究に用いる情報

### ●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・背景：性別、主訴、既往歴、紹介科、初診日もしくは主訴が出現した日・年齢、ランダム皮膚生検日、治療経過、ランダム皮膚生検時の副腎皮質ステロイド治療の有無
- ・状態：初診日の呼吸状態、初診日の発熱、Performance status、意識レベル
- ・臨床検査：血液検査、画像検査所見(CT、MRI、PET-CT)
- ・病理検査：皮膚病理所見、骨髄検査所見

※臨床検査、骨髄検査所見については検査されていない患者さんもいらっしゃるため、その項目はデータなしとします。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

### 情報の利用開始予定日

本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

### 研究実施期間

研究機関長の許可日～2025年12月31日

### 研究実施体制

#### 研究責任者

所属：長崎大学病院 皮膚科アレルギー科  
氏名：中島 真帆  
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1  
電話：095 (819) 7333

#### 情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

### 問い合わせ先

#### 【研究の内容、情報等の利用停止について】

長崎大学病院 皮膚科アレルギー科 中島 真帆  
〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号  
電話：095 (819) 7333 FAX 095 (849) 7335

#### 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200  
受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）